

津田中だより



第11号

枚方市立津田中学校
令和7年1月7日
発行 校長 田中 博

自他敬愛

あけまして おめでとうございます！



新しい一年が始まりました。今年度も4月から始まって、残すは3学期のみとなりました。今日まで「この一年早かったなあ〜」「あっという間やった!」と感じている人も多いと思いますが、これから始まる3学期はもっと早く感じると思います。

昔から「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われています。年が明けてからは、誰もがとても忙しくなる時期です。一月は正月三が日から始まり、いろいろな支度や、学校生活も7日スタートでもあり、短い一月はあっという間に行ってしまいます。二月は実際に28日間と他の月より短いため、逃げるように過ぎていきます。三月は、年度末ということで、年度のまとめや片付け、そして来年度に向けての準備も必要になり、皆さんは、25日から春休みに入るので去るように日が流れていきます。特に3年生は、卒業式が終業式よりも早くにあたり、公立高校入試もあたりでなおさら早く感じると思います。



このように3学期は自分が考えている以上に月日が早く過ぎていくので、しっかりした目標設定や時間の使い方をしないと、時間だけが過ぎていってしまいます。年始である今、この一年の目標をしっかり立てて、その実現に向かって進めていくことを始めてほしいと思います。

インフルエンザに要注意！

インフルエンザが全国的に大流行しています。12月2日号の学校だよりにも書きましたが、できる予防対策はしっかり取ってほしいと思っています。新型コロナ感染症が蔓延した頃には、インフルエンザの流行はありませんでした。その理由として、全国的に「三密（密閉・密集・密接）」を避け、しっかりした感染対策を各自が取っていたからだと言われています。当時ほどではなくても、マスクの着用、手洗いの慣行、うがい、換気等できることは場面に応じてしっかり意識して実行してほしいと思います。休み時間の教室の換気も忘れずに!!





十二支の動物は後から付けられましたが、その意味はそれぞれきちんとあります(諸説ありますが)。そこで今年の巳年の意味について調べてみました。

執念深い動物というイメージのある蛇ですが、その一方で、恩を忘れずに返す動物とも言われています。中国の隋の王が救った蛇が、「夢に現れて財宝を捧げていった」という話も伝わっているそうです。

蛇は、古くから豊穡神・天候神として信仰の対象とされてきました。脱皮をする蛇は「復活と再生」を連想し、不老長寿や強い生命力につながる縁起のいい動物と考えられています。また、蛇は餌を食べなくても生きながらえるため、「神の使い」として崇められてきました。全国各地に蛇を祀った神社もあり、七福神の一員である蓄財・芸能の女神「弁財天」は、蛇の型をした神として祀られています。「蛇の抜け殻を財布に入れておくと金運がアップする」と言われるのは、弁財天とのつながりがあることが理由のようです。

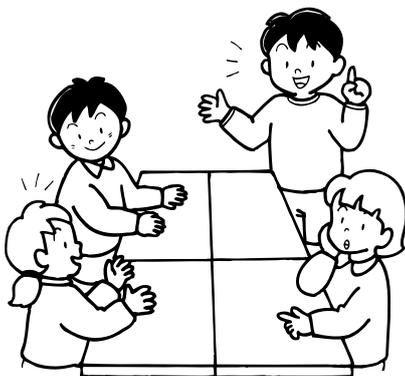
脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子がではじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われるようです。

(インターネットより参照)

授業では…



学校生活の大半は授業の時間です。学習に集中して取り組むことはもちろんですが、皆さんが意欲的に自ら取り組むことが求められています。また、ペア学習やグループ学習などで、人の意見を聴いたり、自分の意見を伝えたりすることも求められています。授業の中で、人と人のつながりや学び合いを通して、人を認められる集団となって学力だけでなく、人間性も高めてほしいと思っています。



まずは、授業にしっかり臨めるよう、チャイムより早い行動で授業の準備を意識し、授業では、静かな環境で臨み、「まずは一人でしっかり考え」、「わからなければ教えてと伝える」ことを皆さんで行ってみてください。そして、ていねいに「わかるまで教えて」あげてください。授業は、先生だけでつくるものではありません。皆さんと一緒につくっていくものです。皆さんで互いをより高め合う時間にいきましょう。

枚方市立津田中学校ホームページ

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2720029>

